



平成31年1月11日 第10号

# 学校だより 1月号

学び合い 認め合い 笑顔輝く 都田西っ子

横浜市立都田西小学校 学校長 大嶋 照美

【TEL 045-933-7652 FAX 045-937-0964】

【<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tsudanishi/>】



## 歳月付待

校長 大嶋 照美

新年あけまして おめでとうございます

今年もよろしく おねがいいたします

今年「亥年」です。1月の学校便りには、十二支のこゝろを取り上げています。

十二支は人の栄枯盛衰、成長を表しているといわれています。十二支を「植物の一生」にたとえると、12番目の「亥年」は、実った果実が種子となり、今までのすべてのエネルギーを一つにし、次の世代に向かうための準備をする年だとありました。また、「動物のイノシシ」のイメージから万病を予防すると意味もあるそうです。イノシシの肉が万病予防の効果があると信じられ、ここから「無病息災」の意味が生じたともありました。イノシシの「猪突猛進な性質」から「勇気と冒険」ともたとえられているそうです。「亥年」は十二支の終わりの年であり、それと共に新しい出発のために力を蓄える年とも考えられます。

学校ではこれからの3か月は、まさにまとめの日々になります。1月から3月までは、まとめの月とし30年度をまとめます。そして進学・進級に向けて準備を始めます。職員一同心新たに、安全・安心な学校づくりのために、そして、子ども達が充実した日々になるように力を注いでまいります。

### 「歳月付待・さいげつふたい」

「歳月は、人の都合を待ってくれない、何もしなくても、遊んでいても時間は過ぎて行き、そしてみんなに平等にある。毎日を大切に、少しずつ出来ることを増やし、得意なことを伸ばし、挑戦する1年にしてほしい。」と、12月の高学年朝会で子ども達に伝え、12月最後の全校朝会では、低学年にも、時間を大切にしようと呼びかけました。

今年先生方も四字熟語や諺など、子ども達に対して、自分の人生訓や、座右の銘などを書いてもらいました。昨年と同じように掲示し、放送や朝会で話してもらう予定です。

### 「佐江戸囃子連」

今年度も「獅子舞」を佐江戸囃子連の方々のご厚意により披露していただくことができました。

1月7日の朝会に登場していただき、昨年同様その後全クラスを巡って子ども達の身近で披露していただきました。

何故噛んでもらうのかを説明しながら校長・副校長・1年生の担任が舞台前で頭をだし、噛みついていただくパフォーマンスをしました。教室では、2年生以上の児童は昨年の経験から、自分から頭を出したり、手を噛んでもらったりする場面も多く見受けられました。1年生も初めての体験でしたが、積極的に頭を出す姿がありました。

5年生と6年生の児童が、獅子連に入っています。お囃子に合わせて上手に獅子舞をしたり、太鼓をたたいたり、真剣に取り組む姿を見せてくれました。

### 「笑門来福」

獅子舞の中で、お面をつけて登場する場面があり、会場から一斉に大きな笑い声が聞こえてきました。お面の向きで表情が変化し、思わず笑ってしまう踊りでした。囃子連の会長から、お正月からみんなが笑顔になり、笑うことは良いことで、笑う門には福来るとい内容のお話をいただきました。

笑門来福には、様々な由来があり、その一つに「福笑い」もあります。

1月を「睦月(むつき)・むつびづき・むつまじき」と言いますが、新年を家族・親類が仲睦まじくすることからつけられたともいわれています。

新しい年を迎え、子ども達が笑顔で安心して仲良く過ごせる環境づくりに職員一同努力してまいります。今年もご協力よろしくお願ひいたします。

